重点施策推進状況の自己評価と外部評価

◆教育総務課

概要 自己評価平均点 3.75

■取組具体例

学校施設等の計画的整備

垂水市学校施設等長寿命化計画に基づき、垂水小学校体育館長寿命化改良事業に伴う外部改修工事、及び令和6年度に向けて内部改修設計業務を実施した。

また、協和小学校ひまわり教室をはじめとした各校の床板張替修繕や、空調設備の取換修繕、そのほか、垂水小学校3階渡り廊下への転落防止ネットの設置など、児童生徒の安全・安心を確保できる教育環境の充実を図った。

緊急を要する修繕等についても、児童生徒・教職員の安全性を最優先に考え、関係課と協議しながら予算確保を図り、早急な対応に努めた。

〔表2〕

◆学校教育課

概要 自己評価平均点 3.5

■取組具体例

タブレット端末活用による授業力向上

管理職部会・情報教育担当者部会に加え、自主研究団体による教職員の学びが深まり、垂水中央中・協和小で研究公開を行った。「交流と発信」のキーワードに「情報の解釈」の視点を取り入れ、GIGAスクール構想を更に前進していくとともに、ICT活用の核となる児童生徒を育成するために「ICTリーダー育成講座」を開設する。R6は、タブレット端末更新に備えた研究を進めていく。

〔表3〕

▲タブレット端末を使った授業の様子

◆社会教育課

概要 自己評価平均点 3.0

■取組具体例

青少年健全育成の充実

地域学校協働活動は、地域の方々とのふれあい活動や伝統芸能継承活動等を計画し、登下校中の見守りをはじめ、地域と学校が合同で運動会を実施するなどの取組みも行っていた。

垂水おもてなし少女・少年隊は、小学生から高校生までの24人が参加し、イベントでの受付及び会場案内や赤い羽根共同募金などの活動を行った。

青少年健全育成事業では、社会教育指導員及び青少年育成指導委員による街頭補導や市民館前にある看板を使用した啓発活動をするなど、青少年の健全な育成に努めており、目立った不審者事案等は発生していない。また、垂水市さわやかあいさつ運動では、令和5・6年度の標語である「おはようを　言えた自分に　晴れマーク」のポスターを市内の公的機関や商店街などに配布し、意識化に努めた。活動では、4月と9月を強調月間とし、登校時等に立哨を行った。

自然体験活動では、大野での自然体験活動に加えて、猿ヶ城渓谷など、市内の他の自然も活用することとし、「たるみず自然探検隊」に改めて、森の駅たるみずで実施した。

〔表4〕

◆国体推進課

概要 自己評価平均点 3.25

■取組具体例

競技団体との連絡調整

令和5年10月8日から11日まで、4日間特別国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体フェンシング競技会」を開催した。これまでに開催した全日本フェンシング選手権大会・団体戦での経験や改善すべき点など念頭に置き、日本フェンシング協会、鹿児島県フェンシング協会と連携を図り準備、実施することができた。

〔表5〕

〔表2〕教育総務課の重点施策の評価と外部評価委員の点検・評価 ※推進状況など詳細は、HPなどからご確認ください。

	重点施策		主な実践項目	評価	外部評価委員の点検・評価（一部）
1	教育委員会の充実	1	教育委員会の活性化	4.0	委員会の傍聴者がいなかったとの事だが、年間計画が解っているのならば事前にLINE等で連絡してもらえれば、一年に一度は傍聴するかもしれない。
		2	教育情報の発信と収集		
2	学校教育環境の整備促進	1	学校施設等の計画的整備	4.0	計画に沿って着実に実施されており、市の上位計画との整合性や各学校を均等に整備していく考えは理解できる。今後はさらに現場からの意見を聞き、現地を見て、学校と一緒に環境を整えてもらいたい。
		2	学校施設の整備		
3	垂水高校振興支援計画の推進	1	振興・支援策に基づく取組みの充実・拡大	3.0	垂水高校振興支援により、資格取得の機会が有利になり、前年度も確実に取得者が増えている。また、進学についても今年度は、滋賀大学の教育学部へ進学する生徒もいる。資格の取得が生徒の自身につながり、やる気のみなぎる校風が実現している。
4	学校教育と連携した学校給食の充実	1	学校給食の充実と食育の推進	4.0	学校給食は、他の市町村がまね出来ないほど、内容が良い。給食センターの味が、そのまま、垂水の味となって、今の食を提供する各店舗の味のベースになっている。私は、県内各地を転勤してきて言えることだが、垂水の食堂やスーパー等の総菜について、県で一位の評価をつけている。

〔表3〕学校教育課の重点施策の評価と外部評価委員の点検・評価 ※推進状況など詳細は、HPなどからご確認ください。

	重点施策		主な実践項目	評価	外部評価委員の点検・評価（一部）
1	確かな学力を定着させる教育の推進	1	確かな学力の定着	4.0	GIGAスクールの為か、子供たちの学力が向上していることは、非常にすばらしい。また、学習する習慣が身についている証拠でもあると考える。ICTで複式学級の単式化は素晴らしい工夫である。児童も先生も負担軽減になっていると考える。あるものは利用し、創意工夫で前向きに行動している事は非常に評価する。
		2	複式教育の充実		
		3	特別支援教育の充実		
2	GIGAスクール構想の推進	1	タブレット端末活用による授業力向上	4.0	他地域と比較し、垂水のGIGAスクールはうまくいっていると聞く。新しい取組には弊害もあったと思うが、児童生徒・保護者・教職員が協力している賜物であると考える。家庭でもタブレット端末が使用できる様に工夫され、学習習慣・学力向上に繋がっているのではないか。
		2	AIドリルを活用した個別最適な家庭学習の工夫		
		3	タブレット端末による遠隔学習等を通した交流推進		
3	豊かな心と健やかな体を育む教育の推進	1	心の教育の充実	3.0	心・道徳・人権の授業は答えが１つでない為、非常に難しい。人対人の問題である為、タブレット端末では学ぶ事は難しいと思う。先日「『表現の自由』とは自分で何でも表現していいという訳ではなく、相手のどんな表現も理解してあげる事」だとあった。最近の子は、自分優先であり、相手を思いやる気持ちが大切な事を理解させて欲しい。
		2	心に届く生徒指導の充実		
		3	人権教育の推進		
		4	体力・運動能力の向上と健康教育の充実		
4	信頼される学校づくりの推進	1	開かれた学校経営の充実	3.0	各学校の様子を様々なメディアで見かけることも多く、開かれた学校作りについて積極的に活動してることを評価する。
		2	教職員の資質向上		
		3	服務規律の厳正確保		